



一般社団法人
日本間人工学会
第59回大会
プログラム

会期：2018年6月2日(土)・3日(日)
会場：宮城学院女子大学



日本人間工学会 第59回大会

社会的レジリエンスに資する人間工学

開催日： 2018年6月2日（土）、3日（日）

会 場： 宮城学院女子大学

大会長： 大橋 智樹

主 催： 一般社団法人 日本人間工学会

The 59th Annual Conference of Japan Ergonomics Society
June 2nd(Sat.)-3rd(Sun.), 2018 Miyagi Gauin Women's University
Conference Chair: Tomoki Ohashi

日本人間工学会 歴代年次大会

名称	開催年月	大会長	開催地
第1回研究会	昭和38年12月	本川弘一	東京都
第2回研究会	昭和39年5月	本川弘一/宮脇一男	大阪府
第3回研究発表会	昭和39年12月	坪内和夫	東京都
第4回大会	昭和40年5月	本川弘一	仙台市
第5回大会	昭和40年12月	藤井左内	東京都
第6回大会	昭和41年6月	高木健太郎	名古屋市
第7回大会	昭和41年11月	山口武雄	東京都
第8回大会	昭和42年5月	古武弥正	西宮市
第9回大会	昭和43年5月	川喜多愛郎	千葉市
第10回大会	昭和44年6月	正戸 茂	広島市
第11回大会	昭和45年9月	大塚誠之	東京都
第12回大会	昭和46年6月	高桑栄松	札幌市
第13回大会	昭和47年5月	斎藤雅男	東京都
第14回大会	昭和48年5月	塚原 進	福島市
第15回大会	昭和49年5月	花岡利昌	奈良市
第16回大会	昭和50年5月	高木健太郎	名古屋市
第17回大会	昭和51年7月	林 喜男	横浜市
第18回大会	昭和52年5月	児玉俊夫	岡山市
第19回大会	昭和53年5月	浅居喜代治	堺市
第20回大会	昭和54年5月	佐藤方彦	福岡市
第21回大会	昭和55年5月	丸山欣哉	仙台市
第22回大会	昭和56年8月	高桑栄松	札幌市
第23回大会 (IEA' 82)	昭和57年8月	大島正光	東京都
第24回大会	昭和58年6月	近藤 武	習志野市
第25回大会	昭和59年7月	横溝克己	東京都
第26回大会	昭和60年5月	秋田宗平	京都市
第27回大会	昭和61年4月	土屋和夫	名古屋市
第28回大会	昭和62年5月	内村喜之	筑波郡
第29回大会	昭和63年5月	長町三生	広島市
第30回大会	平成元年4月	谷島一嘉	東京都

名称	開催年月	大会長	開催地
第31回大会	平成2年6月	斎藤和雄	札幌市
第32回大会	平成3年6月	飯山雄次	習志野市
第33回大会	平成4年5月	津村俊弘	堺市
第34回大会	平成5年5月	神作 博	名古屋市
第35回大会	平成6年6月	吉田義之	東京都
第36回大会	平成7年5月	猪岡 光	仙台市
第37回大会	平成8年5月	野呂影勇	所沢市
第38回大会	平成9年5月	神代雅晴	北九州市
第39回大会	平成10年6月	福田忠彦	藤沢市
第40回大会	平成11年6月	高田和之	名古屋市
第41回大会	平成12年6月	大久保堯夫	東京都
第42回大会	平成13年9月	福地保馬	網走市
第43回大会	平成14年6月	長町三生	加茂郡
第44回大会	平成15年8月	秋田宗平	ソウル
第45回大会	平成16年6月	小川鑑一	比企郡
第46回大会	平成17年6月	土屋文人	東京都
第47回大会	平成18年6月	岡田 明	大阪市
第48回大会	平成19年6月	福田康明	名古屋市
第49回大会	平成20年6月	間壁治子	東京都
第50回大会	平成21年6月	赤松幹之	つくば市
第51回大会	平成22年6月	横山真太郎	札幌市
第52回大会	平成23年6月	河合隆史	東京都
第53回大会	平成24年6月	柄原 裕	福岡市
第54回大会	平成25年6月	堀江良典	習志野市
第55回大会	平成26年6月	川野常夫	神戸市
第56回大会	平成27年6月	吉武良治	東京都
第57回大会	平成28年6月	斎藤 真	津市
第58回大会 (ACED2017)	平成29年6月	鳥居塙 崇 小谷 賢太郎	習志野市
第59回大会	平成30年6月	大橋 智樹	仙台市

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、一般社団法人日本人間工学会第59回大会を宮城県仙台市にて開催する運びとなりました。仙台市は、本学会が1964年12月に設立された翌1965年5月に、最初の全国大会（第4回大会；本川弘一大会長）が開催された都市で、1980年の第21回大会（丸山欣哉大会長）、1995年の第36回大会（猪岡光大会長）に続いて4度目の開催となります。東北支部は会員数数十人の小さな支部であること也有り、前回大会から20年以上の月日が流れてしまいました。この間、北村正晴・元支部長、本多薰・前支部長のもと、支部の大幅な活性化がはかられ、ようやく開催できる基盤が整いました。



この地は、2011年3月11日の東日本大震災の被災地のど真ん中でもあります。7年前のあの日、それまで当たり前に存在してきたもの／ことの多くが失われました。

私自身、福島第一原子力発電所と第二原子力発電所のちょうど中間あたりにある富岡町の町役場で被災しました。130Kmほど離れた仙台市の自宅までヒッチハイクをしてたどり着いたのは翌12日の午前3時半頃でした。国道はそこかしこで津波の被害を受けて通行できず、普段なら3時間かかる距離を9時間以上かかりました。仙台の街はすべての灯りが消え、満天の星が夜空を覆い、道路はうっすら雪化粧をしている、幻想的な美しさでした。道中、第一発電所のある双葉町の防災無線が被ばくの恐れがあるからと屋内退避を呼びかけていたと記憶しています。人びとは気にする様子もなく屋外を歩いていましたが、翌日からそこは警戒区域に指定され、数年間、人の立入が厳しく制限されました。

福島県の沿岸部の一部では原子力発電所事故による放射能の影響で数十年にわたって人が住めないであろうエリアもあるなど、多大な影響が残り続けます。岩手県から宮城県にかけての三陸沿岸部では、山を削って土砂を運び土地の大規模なさ上げ工事が行われています。沿岸数百キロにわたって生活を大きく変えねばならない現実に直面していて、それらの影響は沿岸地域にとどまらず、県域を越えて東北地方全域に及んでいます。

このような経験した地方にあって、東北支部としてどのようなテーマを掲げて大会を開催するか、大会実行委員会ではかなり議論を重ねました。大震災によって大きな変化を強いられた地方であることに加え、世界の国々が経験したことのない急激で継続的な人口減少を初めて経験する日本の中でも減少率が圧倒的に高い地方であることを考え、人間工学という学問を社会の変化に対応できるように位置づける大会としようと決意しました。テーマは「社会的レジリエンスに資する人間工学」です。大会実行委員会はこのテーマに沿っていくつかの大会企画を考えますが、会員の皆様におかれましても、可能な範囲でご自身のご研究をこのテーマに照らしてお考えいただければ幸いです。

特別講演には、東北大学災害科学国際研究所の初代所長・平川新氏（現宮城学院女子大学学長）と二代目所長・今村文彦氏をお迎えします。この研究所は、歴史学（日本近世史）が専門の平川氏が、災害の多い地域に資する研究をするためには文系学問と理系学問とを融合する研究体制が必要だと考え、津波工学の専門家である今村氏らに声をかけ、東北大学の中に研究拠点の整備したことに始まります。東日本大震災の4年前のことでした。研究所設立からわずか7年目ではありますが、災害科学

をリードする存在として世界から高く評価されています。

東日本大震災からのレジリエンスに災害科学という学問がどのようにかかわったかというお話を伺うことが一つの目的です。しかしそれ以上に、Human Factorsとしての人間工学が、文系学間に位置づけられることが多い応用心理学を出自としてもつことを考えると、文理の融合によって災害科学という新たな学問を確立させたこの研究所の歩みはきっと参考になるだろうと考えました。文系出身の初代所長と、理系出身の二代目所長の対話を通して、レジリエンスに資する人間工学のあり方を探りたいと思います。

津波で甚大な被害を受けたエリアはほぼ旧仙台藩の領地に一致します。この地は度重なる津波被害をもたらすだけでなく、独特の景観と豊かな海の幸をはぐくみ、肥沃な平野は米どころでもあります。伊達者のはぐくんだ文化もそこかしこに感じていただけだと思います。仙台一東京駅間はわずか1時間半。全国主要都市とをつなぐ仙台空港と仙台駅の間は最短17分と、交通の便も良い土地柄です。

映画やドラマのロケにも使われた美しいキャンパスが自慢の宮城学院女子大学で、スタッフが悲鳴を上げるほどの多数の皆さまのご参加を、心よりお待ち申し上げます。

一般社団法人日本人間工学会 第 59 回大会
大会長 大橋 智樹 (宮城学院女子大学)

会場までのアクセス

■最寄り駅からのアクセス

<バスご利用の場合（宮城交通）>

—JR仙台駅から—

A：西口バスプール3番 「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車。

B：西口バスプール2番 「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行乗車→「宮城学院前」下車。

【所要時間:約30分・料金380円】

—仙台市地下鉄 南北線 旭ヶ丘駅から—

3番バス停 「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車。

【所要時間:約10分・料金250円】

■駐車場

駐車場が学内にありますが、数に限りがございますのでご了承ください。

周辺に有料駐車場等がございませんので、公共交通機関にてご来場下さい。

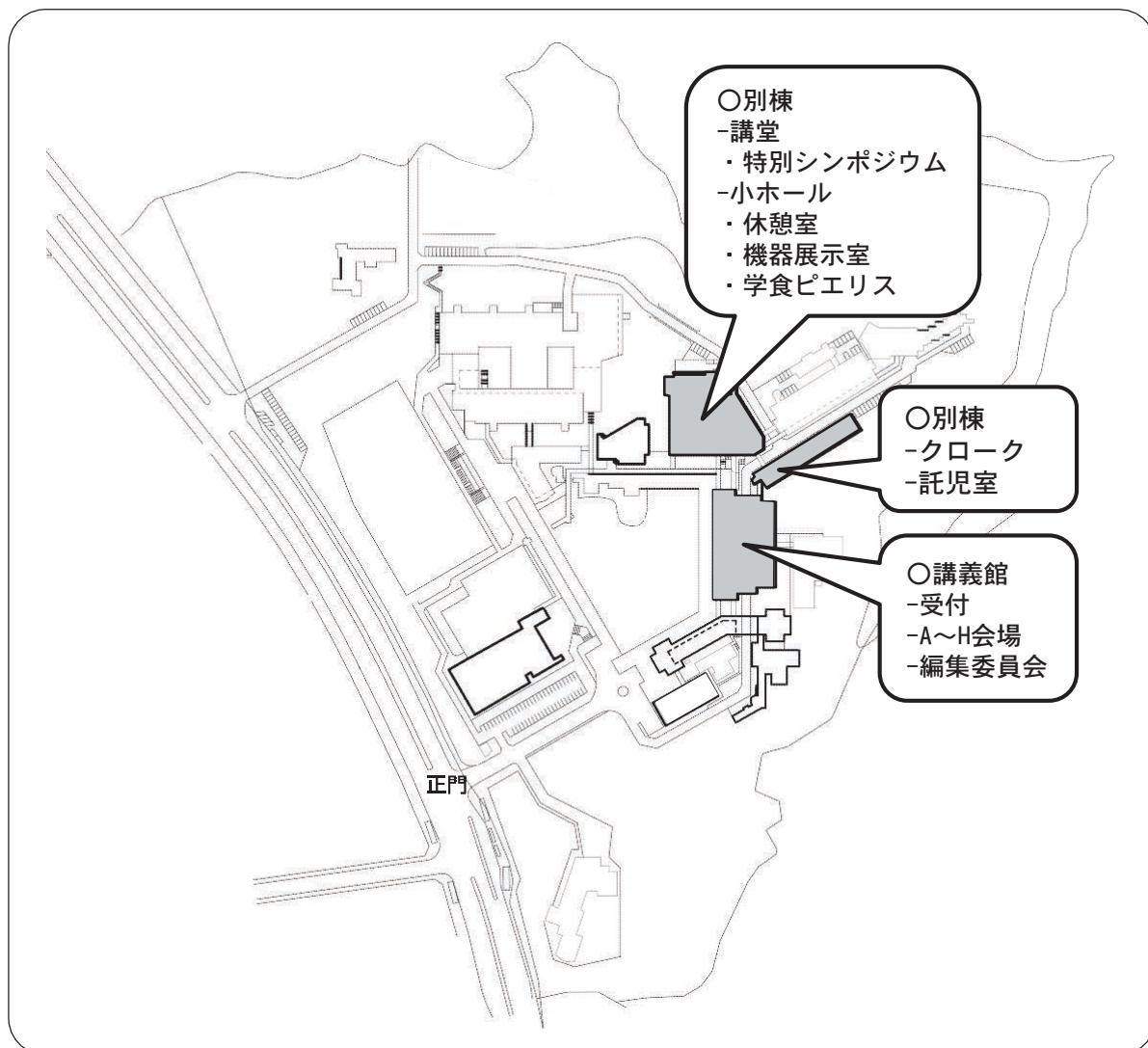


■会場

宮城学院女子大学

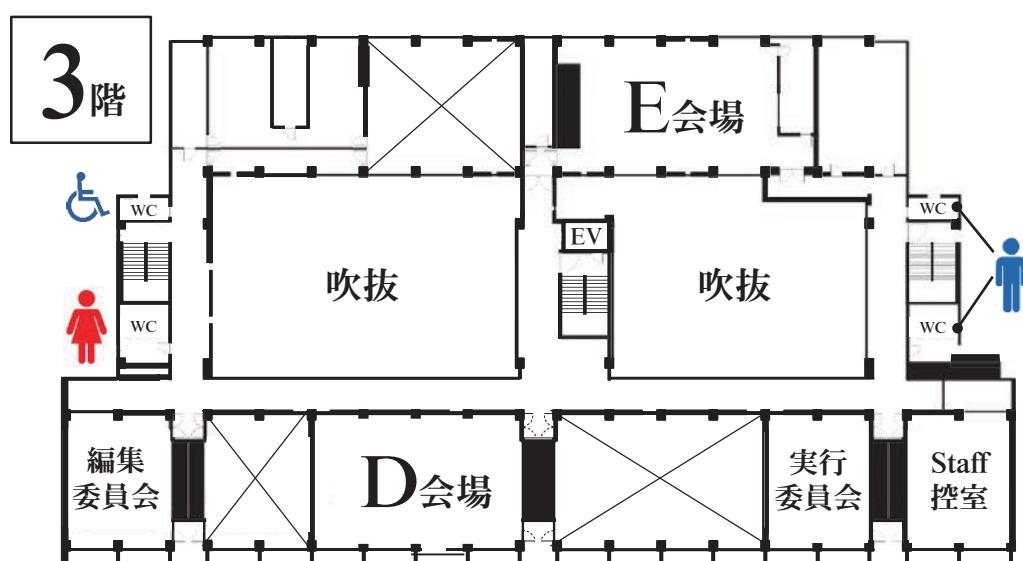
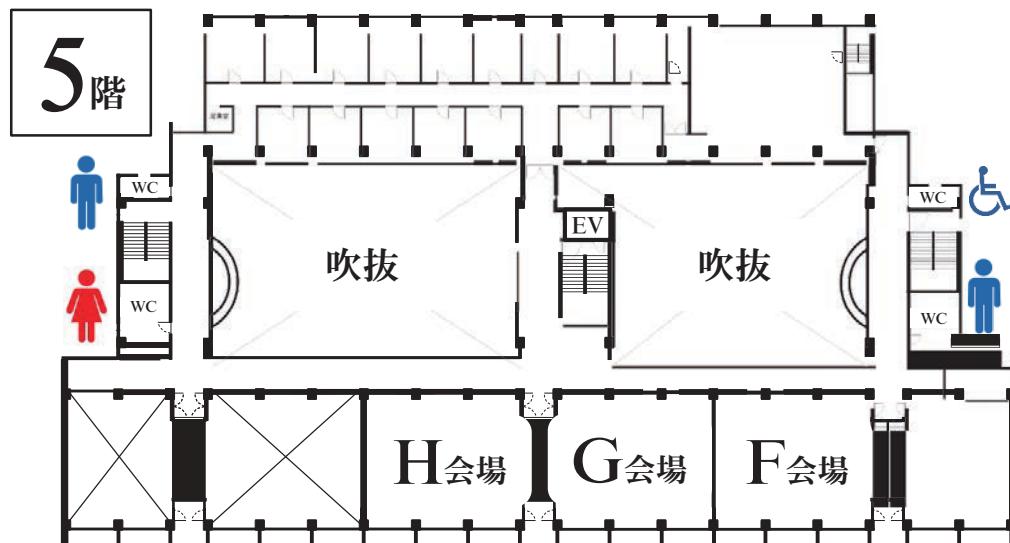
〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 Tel: 022-279-1311(代表)

会場案内図(宮城学院女子大学)



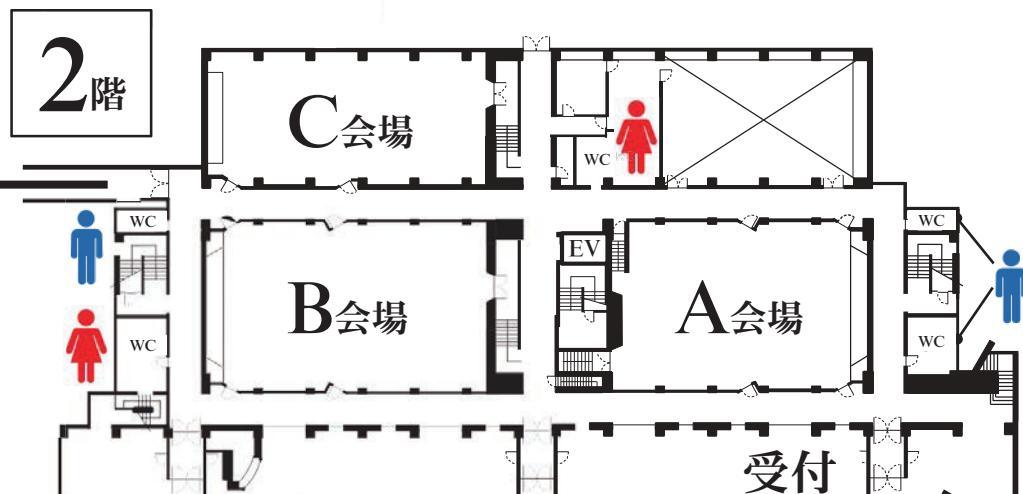
施設名	会場等
講義館 2階	受付, A会場, B会場, C会場
講義館 3階	D会場, E会場, 編集委員会会場, 実行委員会, Staff控室
講義館 4階	使用しません。
講義館 5階	F会場, G会場, H会場
別棟	クローク, 託児室, 講堂, 休憩室, 機器展示室, 学食ピエリス

講義館 2階・3階・5階



別棟

- ・クローケ
- ・託児室
- ・休憩室
- ・機器展示
- ・食堂



正門

大会事務局より

【参加者の皆さまへ】

1. 受付

2日間とも午前9時より行います。事前に参加費をお支払いいただいた参加者には、事前に名札が郵送されています。参加登録、参加費支払いとともに当日も受け付けておりますが、事前登録・支払いと金額が異なりますのでご注意ください。

2. 参加費

		事前割引料金	通常料金
会員	正会員	8,500円	10,000円
	学生会員	3,500円	5,000円
	学生会員（講演集なし）	事前割引なし	2,000円
非会員	非会員	10,000円	12,000円
	学生非会員	4,500円	6,000円
	学生非会員（講演集なし）	事前割引なし	3,000円

(事前割引料金は事前参加登録を5月10日（木）正午まで行っていただき、
5月14日（月）までに支払いが完了した場合に適用されます。)

- ※一般企画シンポジウムの講演者にも参加費をお願いしております。
- ※賛助会員についてはあらかじめ招待状をお送りいたします。
- ※「学生」には大学院生も含みます。大会当日学生証をお持ちください。
- ※協賛団体会員の大会参加費は、本学会会員扱いとさせていただきます。協賛団体は後掲の協賛団体リストをご参照ください。

3. 懇親会について

懇親会は、大会初日（6月2日（土））19時より仙台駅から徒歩5分の仙台国際ホテルにて開催します。東北各地の料理と銘酒で歓迎いたしますので、皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

	事前割引料金	通常料金（当日払い）
一般（学生以外）	5,500円	6,000円
学生	4,000円	5,000円

- ※懇親会費は表のとおりです。事前割引料金は2018年5月14日（月）までの支払いに適用されます。
- ※「学生」には大学院生も含みます。大会当日は学生証を必ず持参してください。
- ※懇親会に参加される方は、大会会場から懇親会場までのシャトルバスでご案内します。

4. 昼食（弁当）について

会場周辺の徒歩圏内には昼食を提供する店舗やコンビニエンスストアなどはありません。大学食堂「ピエリス」を営業いたしますのでご利用下さい。

また、社員総会に参加される方のために初日のみ弁当（お茶含む）を販売いたします。注文を希望される方は事前に参加費とともににお支払いください。1,000円（税込み）です。

5. 論文集の電子化について

本年の全国大会では、学会の方針に基づき、試験的に発表原稿の閲覧を電子的に行うシステムを導入し紙媒体での提供は行わないことといたしました。

大会期間中はシステムの利用に関してのサポートディスクを設けますので、不明の点ございましたら遠慮なくお問い合わせ下さい。

6. お支払い方法について

- ・事前参加登録はクレジットカードによる支払いまたはコンビニエンスストアでの支払いのいずれかです（銀行振込や郵便振替は行いません。）．当日参加登録は現金支払いのみです。
- ・大会Webサイトから事前登録をしていただきます。事前参加登録の登録完了画面にお支払いのボタンが表示されます。そのボタンよりお支払いのページへ進み、クレジットカード払いまたはコンビニエンスストア払い等を選択し、必要事項を入力してください。詳細は大会Webサイトをご覧ください。なお、決済手数料は大会事務局が負担します。セキュリティには万全の対策がとられておりますので、安心してご利用ください。
- ・事前割引料金は2018年5月14日(月)までの支払いに適用されます。通常料金は、大会当日に大会受付でお支払いください。

7. 事前申し込みのキャンセルについて

事前申し込みのキャンセルは、2016年5月25日（水）正午までに事務局へメール等で手続きされた方に限り、受け付けます。返却は大会終了後となります。その際、事務手数料として3,000円をいただきますことをご了承ください。

8. 宿泊・交通機関の予約、斡旋について

近年、仙台市内の宿泊施設は非常に予約しづらい状況が続いており、特に土曜日は最も予約が取りづらい曜日です。したがいまして、宿泊・交通機関の予約・斡旋を、(株)たびのレシピに委託しましたので、こちらの利用を強くお勧めします（予約可能な部屋数には限りがありますので早めにお申し込みください）。

<https://www.ergonomics.jp/conference/2018/sanka/syukuhaku/>

なお、(株)たびのレシピからホテルを予約をされた方は、仙台駅周辺と大会会場とを往復するシャトルバスを無償でご利用いただけます（運行時間帯・乗車可能人数には制限があります）。その他の参加者は公共交通機関をご利用ください。

9. 展示

人間工学関連の機器展示を行います。

10. 喫煙場所について

構内全面禁煙となっております。ご理解とご協力の程、よろしくお願ひ致します。

11. 託児サービスについて

託児サービスを希望される方は、2018年4月27日（金）正午までに、お申し込みください。託児サービスはお一人でも希望者がいらっしゃれば開設いたします（無償とします）。

【座長の皆さまへ】

座長の先生方は、大会参加受付後に、座長受付をお通りの上、担当セッションの開始10分前に、各会場の受付までお越し下さい。

【一般講演の口頭発表の皆さまへ】

1. 口頭発表時間

口頭発表は1演題につき発表10分、質疑応答4分の合計14分です（入れ替え1分）。

8分目に1鈴、10分目に2鈴（発表終了）、14分目に3鈴（討議終了）を鳴らします。

2. ビジュアルエイド

Microsoft Officeがインストールされたパソコンおよびプロジェクターを用意します。USBメモリで発表用ファイルをご持参ください。発表者自身でパソコンをご持参いただいても結構です。いずれも、発表前の休み時間に必ず動作確認をしてください。プロジェクターのケーブルコネクターは従来型のD-Sub15ピンです。異なるコネクタの場合は変換ケーブルをご持参ください。

【企画シンポジウムの司会者、発表者の皆様へ】

1. 発表および討議

企画シンポジウムの発表、討議は所定の時間内に終了するようにしてください。司会・進行は司会者にお任せします。

2. ビジュアルエイド

【一般講演口頭発表の皆様へ】に記載されている内容に準じます。

【企業展示、講演集広告】

詳細は大会ウェブサイトに掲載します。

【講演集のインターネット公開について】

大会講演集は科学技術振興機構（J-STAGE）にて大会終了後にインターネットで公開されます。公開データは申し込み時の登録情報原稿をもとに大会事務局が作成します。

大会講演集に掲載される原稿の著作権は一般社団法人日本人間工学会に帰属します。また、公開された講演論文は著者都合で削除することはできませんので、あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】

<大会事務局>

日本人間工学会第59回大会事務局

宮城学院女子大学 大橋 智樹

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

E-mail : tohoku.jes@gmail.com

<運営事務局>

※大会全般のお問い合わせ先

日本人間工学会第59回大会運営事務局

(株) ドーモ

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-9-6 十全ビル4階

TEL 03-5510-7923 (担当 水垣)

E-mail : jes2018@do-mo.jp

大会ホームページ : <https://www.ergonomics.jp/conference/2018/>

大会1日目 (6月2日 (土))

タイムテーブル

講義館 2 階		講義館 3 階		講義館 5 階		別棟	
A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
9:30 1A1 バーチャル リアリティ (1)	9:30 1B1 交通	9:30 1C1 高齢者 (1)		9:30 1E1 生体計測 (1)	9:30 1F1 安全・事故 (1)	9:30 1G1 看護 (1)	9:30 1H1 立位・歩行
10:45	10:45 1B2 交通システム	10:45 S1 地域企業との取組 み事例に基づきも のづくり現場における人間工学の活 用を考える	10:30 S1 地域企業との取組 み事例に基づきも のづくり現場における人間工学の活 用を考える	10:30 1E2 生体計測 (2)	10:45 1F2 安全・事故 (2)	10:45 1G2 看護 (2)	休憩室・機器展示室(小ホール)
							食堂ピエリス
							クローケー K201
							11:00
							14:00
							17:30
							18:00
11:45～12:45 社員総会 (A会場 C201)		昼食 (食堂ピエリス) 11:00～14:00		13:00～14:30 特別シンポジウム (講堂) “実践的な災害科学”から人間工学が学ぶこと・すべきこと		平川新 (宮城学院女子大学・学長／東北大災害科学国際研究所・前所長)・今村文彦 (東北大災害科学国際研究所・所長)	
14:45 S2 メンタルモデルを考 える	14:45 特別講演 災害復興と地 域再生 室崎益輝 兵庫県立大学大 学院	14:45 S3 PIE研究にお ける問題点と Good Practice事例					
16:15	16:15	16:15					
16:30 1A4 バーチャル リアリティ (2)	16:30 1B4 設計デザイン (1)	16:30 1C4 健康	16:30 1D4 精神作業	16:30 1E4 生体計測 (3)	16:30 1F4 安全・事故 (3)	16:30 1G4 ヒューマン インターフェー ス (1)	16:30 1H4 動作 (1)
17:30	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30	
19:00	懇親会 (仙台国際ホテル) ※懇親会に参加される方は17時以降を自安に順次バスでお送りします (無償)						

大会2日目（6月3日（日））

講義館 2 階				講義館 3 階				講義館 5 階			
A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場				別 棟
	9:30 設計デザイン (2)	9:30 2B1	9:30 2C1 高齢者 (2)	9:30 2D1 認知	9:30 2F1 安全・事故 (4)	9:30 2G1 ヒューマン インファース (2)	9:30 2H1 動作 (2)				クローケー K 201
10:30	S4 臨床医学と人間工学のコラボによる製品開発	10:30 S5 震災復興のヒューマンファクター	10:45 2C2 人間特性	11:00	10:30 S6 学会企画アーカイブ 卒研・修論テーマ交流会	10:45 2F2 安全・事故 (5)	10:45 2G2 ヒューマン インファース (3)	11:00	11:00	休憩室・機器展示室（小木一郎）	食堂ピエリス
12:00		12:00	12:00	12:00 学会企画・教育講演 人間工学研究で役立つ統計学	12:15	12:00	12:00 昼食（食堂ピエリス） 11:00～14:00	12:45	14:00		
13:00	S7 ヘッドマウントディスプレイの人間工学（国際標準制定に向けた）	13:00 学会・大会共同企画 知のネットワークを生かす社会的レジリエンス			13:00 S8 活躍する人間工学専門家	13:00 2F3 習熟	13:00 2G3 ヒューマン インファース (4)	13:00	14:00	2H3 作業姿勢	
14:30		14:30			14:30	14:15	14:15	14:30	14:30		
14:45	S9 産学連携プロジェクトのグッドプラクティス	14:45 S10 疲労リスクマネジメントの考え方と実践	14:45 2C4 障害者・ アクセシブル デザイン	14:45 2D4 医療事故・安 全	14:45 S11 職場環境改善 のための業種 別人間工学ア クション開発	14:45 2F4 安全・事故 (6)	14:45 2G4 感覚計測	14:45	14:45	2H4 姿勢	
16:15		16:15	15:45 16:00	16:00	16:15	15:45 2F5 安全・事故 (7)	15:30 2G5 環境	16:00	16:00		
											17:00

大会プログラム

【特別シンポジウム】

6月2日(土) 13:00～14:30 大学講堂

”実践的な災害科学”から人間工学が学ぶこと・すべきこと

講演者1:平川 新(宮城学院女子大学 学長)

講演者2:今村 文彦(東北大学 災害科学国際研究所 所長)

オーガナイザ:大橋 智樹(宮城学院女子大学)

【特別講演】

6月2日(土) 14:45～16:15 B会場

災害復興と地域再生

講演者:室崎 益輝(兵庫県立大学 減災復興政策研究科長)

オーガナイザ:北村 正晴((株)テムス研究所)

【学会・大会共同企画シンポジウム】

6月3日(日) 13:00～14:30 B会場

知のネットワークを生かす社会的レジリエンス

講演者:榎本 敬二(中部電力(株))

北村 憲康(東京海上日動リスクコンサルティング(株))

八木 絵香(大阪大学)

オーガナイザ:狩川 大輔(東北大学大学院)

【学会企画教育講演】

6月3日(日) 12:00～12:45 H会場

学生・若手向けの教育講演シリーズ 3 人間工学研究で役立つ統計学

講演者:榎原 肇(名古屋市立大学)

【一般企画シンポジウム・ワークショップ】

6月2日(土)

時間	会場	タイトル	オーガナイザ
S1 10:30～11:45	D	地域企業との取組み事例に基づきものづくり現場における人間工学の活用を考える	山口 俊憲(山形県立産業技術短期大学校)
S2 14:45～16:15	A	メンタルモデルを考える	山岡 俊樹(京都女子大学)
S3 14:45～16:15	C	PIE研究における問題点とGood Practice事例	三宅 晋司(産業医科大学)

6月3日(日)

時間	会場	タイトル	オーガナイザ
S4 10:30～12:00	A	臨床医学と人間工学のコラボによる製品開発—3Dヘッドアップモニターによる眼科手術のための椅子の試作を例として—	野呂 影勇(早稲田大学／エルゴシーティング株式会社)
S5 10:30～12:00	B	震災復興のヒューマンファクター	増田 聰(東北大学)
S6 10:30～12:00	E	卒研・修論テーマ交流会	申紅仙・加藤麻樹・吉武良治 (JES若手支援委員会)
S7 13:00～14:30	A	ヘッドマウントディスプレイの人間工学(国際 標準制定に向けて)	兵頭 啓一郎(産業技術研究所)
S8 13:00～14:30	E	活躍する人間工学専門家	福住 伸一(理化学研究所)
S9 14:45～16:15	A	产学連携プロジェクトのグッドプラクティス	易強・善方日出夫・吉武良治 (JES企業活動推進委員会)
S10 14:45～16:15	B	疲労リスクマネジメントの考え方と実践	鳥居塚 崇(日本大学)
S11 14:45～16:15	E	職場環境改善のための業種別人間工学アクションチェックリストの開発	小木 和孝(大原記念労働科学研究所)

【一般企画シンポジウム・ワークショップ】

6月2日(土)

地域企業との取組み事例に基づきものづくり現場における人間工学の活用を考える

10:30～11:45 D会場 オーガナイザ:山口俊憲(山形県立産業技術短期大学校)

S1-1 产学連携による地域中小製造業の生産改善 ○山口俊憲(山形県立産業技術短期大学校)

S1-2 働きやすさの実現にむけた精密板金工場の生 ○平塚毅(カネト製作所)、山口俊憲(山形県立産業技術短期大学校)
- 段取り改善によるフル生産化の実現

S1-3 精密板金工場における標準工数を活用した生 ○二文字良(京浜パネル工業)、山口俊憲(山形県立産業技術短期大学校)

メンタルモデルを考える

14:45～16:15 A会場 オーガナイザ:山岡俊樹(京都女子大学)

S2-1 メンタルモデルの時間的推移によるシステム評価 ○山岡俊樹(京都女子大学)

S2-2 魅力的なサービスデザインのメカニクスについて ○安井鯨太(デザイン人間工学研究会)
の記述方法の提案と考察

S2-3 操作画面における時間モデル追加の有効性の ○脇結花莉(京都女子大学大学院)、山岡俊樹
検討 (京都女子大学)

S2-4 フィッシャーの評点法を用いたメンタルモデル抽出 ○森亮太(長野県短期大学)
出法

PIE研究における問題点とGood Practice事例

14:45～16:15 C会場 オーガナイザ:三宅晋司(産業医科大学)

S3-1 PIE研究における問題点とGood Practice事例- ○三宅晋司(産業医科大学)、大須賀美恵子(大阪工業大学)
ラウンドテーブルディスカッション-

6月3日(日)

臨床医学とコラボする理由—3Dヘッドアップモニターによる眼科手術用椅子の試作を例として—

10:30～12:00 A会場 オーガナイザ:野呂影勇(早稲田大学／エルゴシーティング)

S4-1 臨床医学とコラボする理由 野呂影勇(早稲田大学、エルゴシーティング)、戸
ー3Dヘッドアップモニターによる眼科手術用椅子 上英憲(産業医科大学)、小山秀紀(東北大学大
学院)の試作を例として—

震災復興のヒューマンファクター

10:30～12:00 B会場

オーガナイザ:増田聰(東北大学)

- S5-1 シンポジウム「震災復興のヒューマンファクター」 ○増田 聰(東北大学大学院)
開催にあたって
-東日本大震災からの復旧・復興過程で明らか
になった人的要因・人間工学的課題-
- S5-2 シンポジウム「震災復興のヒューマンファクター」 増田 聰(東北大学大学院)、手島 浩之(日本建築
家協会宮城地域会)、菅野 拓(人と防災未来セン
ター)、高田篤(東北圏地域づくりコンソーシアム)、
松原久(東北大学大学院)、新井信幸(東北工業
大学)

卒研・修論テーマ交流会

10:30～12:00 E会場

オーガナイザ:申紅仙、加藤麻樹、吉武良治(JES若手支援委員会)

- S6-1 卒論・修論テーマ交流会:学生交流カフェ 日本人間工学会若手支援委員会
～若手研究者支援プログラムキックオフミーティ
ング～

ヘッドマウントディスプレイの人間工学(国際標準制定に向けて)

13:00～14:30 A会場

オーガナイザ:兵頭啓一郎(産業技術総合研究所)

- S7-1 ヘッドマウントディスプレイの人間工学
-国際標準制定に向けて- ○兵頭啓一郎、氏家弘裕、多田充徳(産業技術総合研究所)
- S7-2 頭部運動を伴う HMD での映像観察による VR ○氏家弘裕、多田充徳、兵頭啓一郎(産業技術総合研究所)
酔い
- S7-3 ヘッドマウントディスプレイの重量とバランスが身
体負担に与える影響 ○多田充徳、氏家弘裕、兵頭啓一郎(産業技術総合研究所)

活躍する人間工学専門家

13:00～14:30 E会場

オーガナイザ:福住伸一(理化学研究所)

- S8-1 活躍する人間工学専門家 -立ち姿勢を取り入れ
たオフィスの新しい働き方- ○浅田 晴之(オカムラ)
- S8-2 電機メーカーにおける人間工学の活用事例 ○佃五月、三枝卓矢(シャープ)
-サッと使える掃除機の開発事例-
- S8-3 ISO/TC159 SC4(人とシステムのインタラクション ○大井 美喜江(三菱電機)
の人間工学)委員活動
-WG5 ユーザビリティ関連規格の改訂を通して-
- S8-4 アジア地域における人間工学専門家認定に関
する現状 ○鳥居塚 崇(日本大学)

产学連携プロジェクトのグッドプラクティス

14:45～16:15 A会場

オーガナイザ:易強、善方日出夫、吉武良治(JES企業活動推進委員会)

- S9-1 香川大学教育学部との産学官共創への取り組 ○杉妻謙、境薰(富士通デザイン)、坂井聰、宮崎み-特別支援教育領域でのデザインとテクノロジ 英一(香川大学)
ーの活用実践事例報告ー

- S9-2 大学牽引型の人間工学の産学連携研究

○下村義弘、志村恵、夏亜麗(千葉大学大学院工
学研究院)

- S9-3 民間研究機関の立場からみた産業界との研究 ○松田文子(大原記念労働科学研究所)
連携

- S9-4 中小企業の製品開発への人間工学技術支援事 ○易強(静岡県工業技術研究所)
例

疲労リスクマネジメントの考え方と実践

14:45～16:15 B会場

オーガナイザ:鳥居塚崇(日本大学)

- S10-1 産業疲労管理の新たな課題

○小松原明哲(早稲田大学)

- S10-2 航空業界における疲労リスク管理

○高橋健(日本貨物航空)

- S10-3 産業安全保健における疲労リスクマネジメント ○榎原毅(名古屋市立大学大学院)
ー夜勤交代制勤務を中心に

職場環境改善のための業種別人間工学アクションチェックリストの開発

14:45～16:15 E会場

オーガナイザ:小木和孝(大原記念労働科学研究所)

- S11-1 船員自主改善のためのアクションチェックリスト ○久宗周二(神奈川大学)
開発の経緯

- S11-2 惣菜製造業でのアクションチェックリスト使用の ○岸田孝弥(高崎経済大学)
経験

- S11-3 業種別職場改善アクションチェックリスト開発の ○小木和孝、佐野友美(大原記念労働科学研究所)
共通手順

【一般講演 1日目】

6月2日(土) A会場

バーチャルリアリティー(1)

9:30～10:45

座長:川野常夫(摂南大学)

- 1A1-1 AR 技術を応用した仮想ユーザによる実体物の ○川野常夫(摂南大学)、福井裕(大阪府立大学)、西尾大(摂南大学) ユーザビリティ評価
- 1A1-2 VR 空間における UX 評価の有効性～第 2 報: ○松下寛、吉武良治(芝浦工業大学) 実空間での検討との比較実験～
- 1A1-3 複合現実感システムの使用時間がユーザ体験 ○西奏人、和田滉平、河合隆史(早稲田大学) に及ぼす影響
- 1A1-4 癒し映像を 2D ディスプレイと HMD で視聴した ○鯉沼佳希、大倉典子(芝浦工業大学) 際のリラクゼーション効果の比較
- 1A1-5 CAVE を利用した視覚情報量の差による疲労 ○中島甫(秋田県立大学大学院)、嶋崎真仁(秋田県立大学)

バーチャルリアリティー(2)

16:30～17:30

座長:河合隆史(早稲田大学)

- 1A4-1 日常生活におけるバーチャルリアリティ体験が ○河合隆史(早稲田大学) 心拍変動におよぼす影響
- 1A4-2 HMD を用いた 360 度映像観察時の視覚行動の ○伴地芳啓、吉川佳祐、河合隆史(早稲田大学) 分析(1)
- 1A4-3 HMD を用いた 360 度映像観察時の視覚行動の ○吉川佳祐、伴地芳啓、河合隆史(早稲田大学) 分析(2)
- 1A4-4 注視点の動きが VR 酔いに与える影響に関する ○三浦直樹(芝浦工業大学)、氏家弘裕(産業技術総合研究所)、大倉典子(芝浦工業大学) 研究

6月2日(土) B会場

交通

9:30～10:30

座長:芳賀繁(立教大学)

- 1B1-1 「歩きスマホ」が視覚的・聴覚的注意に及ぼす ○芳賀繁(社会安全研究所)、松山泰門(立教大学) 影響:トレッドミルと歩行者視点で撮影された映像を用いた室内実験
- 1B1-2 路面標示劣化が運転行動に及ぼす影響(第 2 ○三林洋介、田宮高信(東京都立産業技術高等専門学校)、相田翔(産業技術大学院大学)、神田雅大(首都大学東京) 報)
- 1B1-3 危険回避行動を促すバイノーラル予見音解析 安達勇樹、○高橋雄三(広島市立大学) 手法の検討
- 1B1-4 自転車利用者の個人特性と道路特性による信号無視の誘発について ○松下明史(早稲田大学)、伊藤輔(日本自動車研究所)、加藤麻樹(早稲田大学)

交通システム

10:45～11:30

座長:神田直弥(東北公益文科大学)

- 1B2-1 高齢ドライバーの免許返納意向と生活不安に ○神田直弥、菅原脩平(東北公益文科大学)
関する調査
- 1B2-2 関西国際空港における航空機地上走行経路に ○西澤優里、青山久枝(電子航法研究所)、鳥居
塚崇(日本大学)
関する分析
- 1B2-3 音声対話を用いた漫然運転防止システムの評 ○河合隆史、五十嵐俊文、柏達晶、葛生真也(早
稲田大学)、本間善丈、富野永和(FIND)、松下真
人、土岸啓倫(トヨタ自動車)
価

設計デザイン(1)

16:30～17:30

座長:柴田隆史(東京福祉大学)

- 1B4-1 小学校でのタブレット端末利用におけるアンチ
グレアフィルムの効果 ○柴田隆史(東京福祉大学), 佐藤和紀(常葉大
学), 板垣翔大(武藏野女子学院高等学校), 恒川
雅行、田谷周望(大日本印刷), 堀田龍也(東北大
学)
- 1B4-2 子守帯装着タスクにおける装着不良要因の検
討 ○青木真希子、鈴木聰、高尾秀伸(神奈川工科大
学)
- 1B4-3 全蓋式アーケードのVRを用いた印象評価の比
較 ○鯉沼佳希、藤井康暢、伊藤洋子、大倉典子(芝
浦工業大学)
- 1B4-4 人体の上肢と衣服の袖パターンの関係について ○村上剛規(文化学園大学)
て

6月2日(土) C会場

高齢者(1)

9:30～10:45

座長:大須賀美恵子(大阪工業大学)

- 1C1-1 コミュニケーションロボットの高齢者施設での活
用に関する研究 山崎玄登(元大阪工業大学), ○大須賀美恵子
(大阪工業大学)
- 1C1-2 長寿者の福祉用具利用調査からみた支援機器
開発の課題 ○江原望、二瓶美里、鎌田実(東京大学大学院),
菅原育子(東京大学高齢社会総合研究機構), 権
藤恭之(大阪大学), 増井幸恵、稻垣宏樹(東京都
健康長寿医療センター研究所), 井上剛伸(国立障
害者リハビリテーション研究所)
- 1C1-3 方言で相槌を打つぬいぐるみロボットの開発 ○石原恵子、石原茂和(広島国際大学)
- 1C1-4 騒音下における拡声器のための実時間音声加
工システム ○河野日向子、鈴木郁(法政大学)
- 1C1-5 安価で設置が容易な高感度加速度センサーを
用いたベッド上のヒトの状態の確認 ○町田瑛巨、鈴木郁(法政大学)

健康

16:30～17:30

座長：小崎智照（福岡女子大学）

- 1C4-1 LED の高速点滅光と非点滅光によるメラトニン 分泌への影響 ○小崎智照（福岡女子大学）、日高勇樹（九州大学）、高倉潤也（国立環境研究所）、草野洋介（西九州大学）
- 1C4-2 X 脚と O 脚の半月板損傷治療に活用するヘル スケア IOT サポーター ○盛甘澍、中川志信（大阪芸術大学）
- 1C4-3 体型と味覚の相関性の検討 ○阿部大亮、田原諒人（神奈川工科大学大学院）、高尾秀伸、饗場直美（神奈川工科大学）
- 1C4-4 月経周期が夜間の VDT 作業時の生体負担に および影響 ○市川陽子、大平肇子、永見桂子、長谷川智之、斎藤真（三重県立看護大学）

6月2日(土) D会場

精神作業

16:30～17:30

座長：高田一（横浜国立大学）

- 1D4-1 精神作業負荷時の Heart Rate Asymmetry (HRA) 解析の検討 ○黒坂知絵、三宅晋司（産業医科大学）
- 1D4-2 鏡映描写課題遂行時の自律神経系指標と主観的メンタルワーカロード ○倉岡宏幸（九州工業大学、産業医科大学）、和田親宗（九州工業大学）、三宅晋司（産業医科大学）
- 1D4-3 ディスプレイ上の日本文の難易度が眼球運動と可読性に与える影響 ○山田浩貴（リーガルコーポレーション）、加藤麻樹（早稲田大学）
- 1D4-4 生体センサによるドライバの疲労検知と予測モデルの構築 ○高田一、福田あお衣（横浜国立大学）、松井一、百田大輔、生貝友哉（損保ジャパン日本興亜）

6月2日(土) E会場

生体計測(1)

9:30～10:30

座長：肥田拓哉（青山学院大学）

- 1E1-1 自動車の運転時における筋負担を考慮した適切なステアリング把持位置および操作方法の提案 ○肥田拓哉、仲貴広、松本俊之（青山学院大学）
- 1E1-2 ウエアラブル端末による心拍変動解析 ○林映見、横山清子（名古屋市立大学）、伊藤久敏、河原ゆう子（東邦ガス）
- 1E1-3 面圧センサを用いた生体状態推定に関する基礎的検討 ○酒井梨真子、横山清子（名古屋市立大学）
- 1E1-4 導電纖維を用いたセンサーから得られる情報による覚醒・睡眠判定 ○伊藤右貴、横山清子（名古屋市立大学）

生体計測(2)

10:45～11:45

座長:高橋信(東北大学)

- 1E2-1 計算反復過程における戦略別のERPの特徴化 ○渋川美紀、船田眞里子(白鷗大学)
の試み
- 1E2-2 スマートフォン操作時の歩行特徴に関する研究 ○萩原広太、三田隆弘、川澄正史(東京電機大学
-階段昇降時の歩行計測- 大学院)
- 1E2-3 冬季暖房時における外気温と快適性の関係 ○中村一美、濱田勇輝、岡田悠吾、樹野淳也、竹
原伸(近畿大学)
- 1E2-4 介護動作における筋電位と腰部負担の要因の
関係 ○大賀久美、易強、小松剛、村松重緒(静岡県工
業技術研究所)、前中一介(兵庫県立大学)、下村
義弘(千葉大学)、中井聖(大阪電気通信大学)

生体計測(3)

16:30～17:15

座長:船田眞里子(白鷗大学)

- 1E4-1 ギャンブル性の高いゲーム実行時のERP ○船田眞里子(白鷗大学)、船田忠
- 1E4-2 SNS情報発信前の生体情報による推定感情の
提示システム ○馮晨、劉一帆(芝浦工業大学大学院)、菅谷み
どり(芝浦工業大学)
- 1E4-3 筋活動に着目した学生フォーミュラ車両の運転
姿勢の検討 ○伊藤一也(一関工業高等専門学校)、岡野滉
(JXTGエナジー)、中島萌(SUBARUテクノ)

6月2日(土) F会場

安全・事故(1)

9:30～10:15

座長:申紅仙(常磐大学)

- 1F1-1 東日本大震災後のリスク認知に関する一考察 ○申紅仙(常磐大学)
－福島県出身者と茨城県在住者(当時高校
生)を中心に－
- 1F1-2 クロスロード(学校防災編)を用いた教職員向け ○首藤由紀(社会安全研究所)
ノンテクニカルスキル向上研修の実践
- 1F1-3 災害対策本部シナリオレス訓練の有用性につ
いての一考察 ○吉田佳絵、首藤由紀(社会安全研究所)

安全・事故(2)

10:45～11:45

座長：松田文子（大原記念労働科学研究所）

- 1F2-1 労働災害の発生動向と経済情勢指標の関連性 ○松田文子（大原記念労働科学研究所）、榎原毅（名古屋市立大学）、池上徹（大原記念労働科学研究所）、石井まこと（大分大学）、余村朋樹（大原記念労働科学研究所）、庄司直人（朝日大学）、湯淺晶子（日本赤十字看護大学）、酒井一博（大原記念労働科学研究所）
1F2-2 陸上貨物運送業におけるテールゲートリフター ○大西明宏（労働安全衛生総合研究所）
取扱いに関する実態把握
1F2-3 職場での雑談を通じた知識継承・情報共有に関する一調査 ○藤野秀則（福井県立大学）、作田博、金山正樹（原子力安全システム研究所）
1F2-4 漁船に対する安全マネジメントについて ○坂田真一郎（WIB 協会）、久宗周二（高崎経済大学）

安全・事故(3)

16:30～17:30

座長：狩川大輔（東北大学）

- 1F4-1 飛行場管制業務におけるマルチタスク能力指標に関する基礎的検討 ○狩川大輔（東北大学）、青山久枝（海上・港湾・航空技術研究所）、大橋智樹（宮城学院女子大学）、高橋信（東北大学）
1F4-2 航空管制官の状況認識に関する分析とモデル化 ○青山久枝（海上・港湾・航空技術研究所）、狩川大輔（東北大学）
1F4-3 航空管制業務における異常に対する気づき能 力向上のための訓練ツールの改良 ○堀口聖友、青山久枝（海上・港湾・航空技術研究所）、狩川大輔（東北大学）
1F4-4 変動する状況下での人のレジリエント行動に関する実験的検討：火災発生時の消火活動を想定したシミュレーションを通して ○九保直樹、中西美和（慶應義塾大学）

6月2日(土) G会場

看護(1)

9:30～10:15

座長:長谷川智之(三重県立看護大学)

- 1G1-1 看護組織のコミュニケーションに関する研究成 果の共有に向けた取り組み—フィードバックシートを用いた成果報告会の事例報告— ○水野基樹、山田泰行(順天堂大学)、○芳地泰幸(日本女子体育大学)、岩浅巧(順天堂大学大学院)、富樫恵美子(順天堂大学)、岡田綾(順天堂大学医学部附属練馬病院)、會田秀子(順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院)、庄司直人(朝日大学)、水野有希(東京交通短期大学)
- 1G1-2 コミュニケーションが苦手な看護師の行動特性とは?—行動センサが記録した対話情報の分析— ○山田泰行(順天堂大学)、芳地泰幸(日本女子体育大学)、富樫恵美子(順天堂大学)、岩浅巧(順天堂大学大学院)、高橋秀子(五反田リハビリテーション病院)、岡田綾(順天堂大学医学部附属練馬病院)、會田秀子(順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院)、水野有希(東京交通短期大学)、庄司直人(朝日大学)、水野基樹(順天堂大学)
- 1G1-3 大学病院における看護師のアサーションヒストレスの検討 ○富樫恵美子、山田泰行(順天堂大学)、芳地泰幸(日本女子体育大学)、高橋季子(五反田リハビリテーション病院)、岩浅巧(順天堂大学大学院)、岡田綾(順天堂大学練馬病院)、庄司直人(朝日大学)、水野有希(東京交通短期大学)、水野基樹(順天堂大学)

看護(2)

10:45～11:45

座長:山田泰行(順天堂大学)

- 1G2-1 看護師の観察における注視点分布特性について ○岡根利津、長谷川智之、斎藤真(三重県立看護大学)
- 1G2-2 電子カルテ教材の試作および教育効果の検討 ○長谷川智之、岡根利津、市川陽子、斎藤真(三重県立看護大学)
- 1G2-3 看護師の疲労感とその関連要因に関する研究
—大学病院における調査からの検討— ○岩浅巧(順天堂大学大学院)、山田泰行(順天堂大学)、芳地泰幸(日本女子体育大学)、富樫恵美子(順天堂大学)、岡田綾(順天堂大学医学部附属練馬病院)、水野基樹(順天堂大学)
- 1G2-4 看護職場のダイバーシティ風土と多重役割に伴う恩恵と葛藤の関連 ○山田泰行(順天堂大学)、清水輝子(大雄会第一病院)、岩浅巧(順天堂大学大学院)、榎原毅(名古屋市立大学大学院)、水野基樹(順天堂大学)

ヒューマンインターフェース(1)

16:30～17:30

座長:糸井川高穂(宇都宮大学)

- 1G4-1 誤認識の少ないエレベータ開閉ボタンのデザイン ○糸井川高穂(宇都宮大学)、村田智明(京都造形
ノー顔と動作に着目したイラストの効果— 芸術大学)、矢口博之(東京電機大学)、村上遙香
(宇都宮大学大学院)、古賀誉章(宇都宮大学)
- 1G4-2 写真上の文字の見やすさに関する検討 ～市 ○宮野萌々、吉武良治(芝浦工業大学)
松模様を背景に用いて～
- 1G4-3 単純図形の動きが与える感情の強弱について ○竹ノ内盛二、吉武良治(芝浦工業大学)
- 1G4-4 メンタルケアをめざしたインターラクティブ動画システムの操作方法に関する検討 ○上甲志歩、大須賀美恵子(大阪工業大学)、多
田雄真、伊藤公美子、大島和也、石川淳(大阪国
際がんセンター)

6月2日(土) H会場

立位・歩行

9:30～10:45

座長:菅間敦(労働安全衛生総合研究所)

- 1H1-1 狹い足場上での静的姿勢安定性と軽作業による影響の評価 ○菅間敦(労働安全衛生総合研究所)、瀬尾明彦
(首都大学東京)
- 1H1-2 歩容および足部形状と歩行中の足底圧分布の関係 ○齋藤誠二、羽栗雄平、阿部紘一、保坂享俊(岡
山県立大学)
- 1H1-3 靴底センサからみた骨下の荷重ベクトル ○佐々木祥弘(電磁材料研究所)
- 1H1-4 歩容が歩行中の足部形状に与える影響 ○阿部紘一、保坂享俊、齋藤誠二(岡山県立大
学)
- 1H1-5 足型計測に基づく足のサイズと靴のサイズの差が歩行姿勢に与える影響 ○村野良太(早稲田大学)、佐藤健(実践女子大
学)、加藤麻樹(早稲田大学)

動作(1)

16:30～17:15

座長:初雁卓郎(パラマウントヘルスケア総合研究所)

- 1H4-1 異常データ検出手法を利用した作業性評価 ○平内和樹(首都大学東京大学院)、瀬尾明彦(首
都大学東京)
- 1H4-2 起立補助椅子の座面軌道が及ぼす起立負荷への影響 ○富山大基(近畿大学大学院)、廣川敬康、北山
一郎、大政光史、中原悠希、深牧将(近畿大学)
- 1H4-3 自由テンポにおける足踏み動作の加齢変化および性差 ○中島弘貴、武末慎、高崎颯、村木里志(九州大学
大学院)

【一般講演 2日目】

6月3日(日) B会場

設計デザイン(2)

9:30～10:15

座長:塚田敦史(名城大学)

- 2B1-1 デザイン支援のための水晶体混濁眼における
色覚表現法の構築とその評価に関する研究 ○平野觀人、塚田敦史、笠原光輝(名城大学)、池
田卓美(東洋インキ)、青井清一(元TOTO)、張彥
芳(4allDesign、九州大学)、寺本昂平(名城大学)
- 2B1-2 船舶音報知システムにおける情報提示方法に
対する因子分析 ○甲斐幹康(芝浦工業大学大学院)、武藤憲司(芝
浦工業大学)
- 2B1-3 マルチ画面型VDT作業時の注視点分布特性 ○斎藤真(三重県立看護大学)、池浦良淳(三重大
学大学院)、長谷川智之、大平肇子、市川陽子、岡
根利津(三重県立看護大学)、松井真弓(昭和大
学)

6月3日(日) C会場

高齢者(2)

9:30～10:30

座長:久保博子(奈良女子大学)

- 2C1-1 高齢者の階段昇降時における視線と行動から
みた安全意識について ○久保博子(奈良女子大学)、小山あすか(西宮市
役所)
- 2C1-2 床材の違いが高齢者の歩行動作に与える影響 ○小川タケル、LOHPing Yeap、村木里志(九州
大学大学院)、猪口耕成、野口康成、江島賢一(イケヒ
コ・コーポレーション)
- 2C1-3 車いすティッピングレバーの改善と上下肢負担 ○能登裕子、村木里志(九州大学大学院)
との関係
- 2C1-4 地上デジタル放送の電磁波を使用したヒトの移動検出 ○村岡拓実、鈴木郁(法政大学)

人間特性

10:45～12:00

座長:本多ふく代(東北文化学園大学)

- 2C2-1 本来両手動作である作業活動を片手で行った
時の利き手・非利き手の動作特性の検討 ○本多ふく代(東北文化学園大学)
- 2C2-2 手動制御における追従特性の解析 ○山上勧司、長井力、佐川貢一(弘前大学)
- 2C2-3 人に依存する作業の品質向上手法の構築一
ロセス管理・ロバスト作業設計・技能管理を組み
合わせた作業マニュアル ○仲谷尚郁、小原拓也、櫻井啓太郎、服部一夫、
洞口典久、榎田翼、靄見篤(三菱重工業)、森和夫
(技術・技能教育研究所)
- 2C2-4 小集団での議論のパフォーマンスとメンバーの
体動の同調性との関係ー同調傾向の高いグル
ープに着目してー ○松井裕子、彦野賢(原子力安全システム研究所)
- 2C2-5 ハンドパーカッション奏者における手長とタッピ
ング速度の関係 ○本田一暁、藤井進也(慶應義塾大学)

障害者・アクセシブルデザイン

14:45～15:45

座長:篠原一光(大阪大学)

- 2C4-1 横断歩道における音響信号の提示高さが視覚障がい者の横断歩行に与える影響 ○篠原一光、北村昭彦(大阪大学)、兼崎暁美(篠原電機)、柳原崇男(近畿大学)
- 2C4-2 指先の触知軌跡と触知ピクトグラムの識別容易性の関係 ○吹田裕介、水野統太、板倉直明、水戸和幸(電気通信大学)
- 2C4-3 フィギャーノートによる鍵盤型演奏アプリの知的障害者音楽教育への有効性 ○渡邊千華、水野統太、板倉直明、水戸和幸(電気通信大学)
- 2C4-4 外国人留学生の防災意識の高低による地震災害時の自助能力に関する研究 ○西山尚登、久保雅義(京都工芸繊維大学)

6月3日(日)D会場

認知

9:30～11:00

座長:鳥居塚崇(日本大学)

- 2D1-1 「重さ」のメタファーを利用した荷運び作業に関する一考察 ○鳥居塚崇、本田直(日本大学)
- 2D1-2 マンガ読解時の視線行動の信頼性 ○和田裕一(東北大学)
- 2D1-3 開けやすいパッケージとは何か アクティビティニアを対象とした開けやすさ判定手法と製品展開事例について一 ○田中郁也、吉良尚浩、大塚淳弘(ハウス食品グループ本社)、原田悦子(筑波大学)
- 2D1-4 産学共同開発における被験者視点からの文脈価値創出プロセス ○亀井省吾、飯渕弘成、竹井成和、道村唯夫(産業技術大学院大学)
- 2D1-5 洞察問題の解決プロセスのモデル化とそれに基づく難度コントロール方法の検討 ○倉田雄一郎、小松原明哲(早稲田大学)
- 2D1-6 確認場面を模擬した意思決定課題の開発-作業版 IGTとの比較- ○北村康宏(鉄道総合技術研究所)、河地庸介、阿部千裕(東北福祉大学)、小野間統子(鉄道総合技術研究所)

医療事故・安全

14:45～16:00

座長:大倉典子(芝浦工業大学)

- 2D4-1 同一薬剤の PTP シートのデータベースの解析－表示に着目して－ ○大倉典子、大藪克典(芝浦工業大学)、土屋文人(国際医療福祉大学)
- 2D4-2 熟練技士の認識を援用した透析装置の異常診断プロセス評価による方略と知識の抽出 ○川淵愛子(アクセンチュア)、青木洋貴(東京工業大学)、鈴木聰(神奈川工科大学)
- 2D4-3 人工心肺装置操作時の精神的作業負担に関する基礎的検討－異なる機種によるシミュレータ実験による比較－ ○工藤剛実(東北文化学園大学)
- 2D4-4 透析装置の配管概略図の情報表現に関する一考察:臨床工学技士の装置故障修理失敗との関連について ○前田佳孝(自治医科大学)、鈴木聰(神奈川工科大学)
- 2D4-5 ノイズキャンセリングによるMRI被験者の通話品質改善法 ○稻垣 未知(芝浦工業大学大学院)、武藤 憲司(芝浦工業大学)

6月3日(日) F会場

安全・事故(4)

9:30～10:30

座長:彦野賢(原子力安全システム研究所)

- 2F1-1 レジリエンスエンジニアリングのコア 4 能力によ ○大場恭子(日本原子力研究開発機構)、吉澤厚
る福島第一原子力発電所事故対応分析 文(長岡技術科学大学)、北村正晴(テムス研究所)
- 2F1-2 安全に関するAttitude の涵養を目的とした技術 ○八木絵香(大阪大学)、大橋智樹(宮城学院女子
者教育プログラムの開発(1)－基本構想－ 大学)、北村正晴(テムス研究所)
- 2F1-3 レジリエンスエンジニアリング RAG (Resilience Ability Grid)を用いた防災意識に関する住民ア
ンケート分析
- 2F1-4 タブレットを用いたノンテクニカルスキル演習観 察ツールの開発 ○彦野賢、松井裕子(原子力安全システム研究
所)、谷川裕基(ジョーソンドキュメンツ)、北村正晴
(テムス研究所)

安全・事故(5)

10:45～12:15

座長:榎本隆司(東日本旅客鉄道)

- 2F2-1 鉄道における運転士の危険検知スキルを高め る取組み ○榎本隆司、松久謙一、佐藤洋彰、楠神健(東日本旅客鉄道)
- 2F2-2 鉄道の輸送指令員が異常時に適切に対処するためのスキルの体系化 ○坂庭純、蔵谷正人、佐藤洋彰、楠神健(東日本旅客鉄道)
- 2F2-3 STAMP/STPA を用いた踏み切りシステムの機 能安全評価の試み ○林健太朗、小松原明哲(早稲田大学)
- 2F2-4 鉄道線路保守作業におけるダブルチェックルールの遵守促進のための体験型安全教育プログラムの開発と試行 ○村越暁子、宮地由芽子(鉄道総合技術研究所)
- 2F2-5 異常時対応シミュレータ訓練における列車運転 士の注視行動—列車の加速過程を対象とした 検討— ○鈴木大輔、山内香奈(鉄道総合技術研究所)、松浦理(北海道旅客鉄道)
- 2F2-6 踏切長・鳴動状態・混雑状態が歩行速度に与える影響 ○鈴木大輔、遠藤広晴、斎藤綾乃、秋保直弘、水上直樹(鉄道総合技術研究所)

習熟

13:00～14:15

座長: 麻賀多美代(千葉県立保健医療大学)

- 2F3-1 筆記具の把持動作のトレーニングがスケーラーの把持動作に及ぼす影響 ○麻賀多美代(千葉工業大学大学院、千葉県立保健医療大学)、麻生智子(千葉県立保健医療大学)、三澤哲夫(千葉工業大学)
- 2F3-2 アイトラッキングを活用した加熱調理中の視線分析 ○清水彩子、丸山智美(金城学院大学)、河原ゆう子、伊藤久敏(東邦ガス)
- 2F3-3 現実適合性の高い口腔ケア用モバイルシミュレータを用いた部分学習が全体学習に及ぼす影響 ○今井宏美(千葉工業大学大学院、千葉県立保健医療大学)、木村亜由美(千葉県立保健医療大学)、麻賀多美代(千葉工業大学大学院、千葉県立保健医療大学)、椿祥子、麻生智子、河部房子(千葉県立保健医療大学)、三澤哲夫(千葉工業大学)
- 2F3-4 運転台環境のシステムチェンジにおける運転操作の習熟過程 ○上杉卓正、坂田和俊、西本嗣史、和田一成(西日本旅客鉄道)
- 2F3-5 高齢者におけるルーティンが作業精度に及ぼすポジティブな影響に関する研究 ○明日香鴻、久保雅義(京都工芸繊維大学)

安全・事故(6)

14:30～15:30

座長: 作田博(原子力安全システム研究所)

- 2F4-1 エラーマネジメント研究(3)福島第一事故時の4プラントサイトにおける良好事例・失敗事例の分析 ○氏田博士(原子力安全推進協会)、庄司深也(東京パワーテクノロジー)、渡邊邦道(原子力安全推進協会)
- 2F4-2 エラーマネジメント研究(4)良好事例分析の追試行による教訓の導出 ○作田博(原子力安全システム研究所)、奈良順一、氏田博士(原子力安全推進協会)
- 2F4-3 エラーマネジメント研究(5)福島第一事故における原発立地三県及び国の対応の比較 ○庄司深也(東京パワーテクノロジー)、氏田博士、奈良順一(原子力安全推進協会)
- 2F4-4 調剤作業におけるヒヤリ・ハットのリカバリに関する考察—患者主体のリカバリに着目して— ○石田直也(日本大学大学院)、鳥居塚崇(日本大学)

安全・事故(7)

15:45～16:30

座長: 高橋明子(労働安全衛生総合研究所)

- 2F5-1 化学物質ラベルの絵表示に関する理解度と印象の分析 ○高橋明子、島田行恭、佐藤嘉彦(労働安全衛生総合研究所)
- 2F5-2 チーム力育成訓練の方法論に関する研究 — より効果的な研修を目指して— ○石橋明(安全マネジメント研究所)、狩川大輔(東北大学)
- 2F5-3 体験型コミュニケーションスキル訓練に関する研究 ○今仁哉、渥美貴広、狩川大輔、高橋信(東北大学)

6月3日(日) G会場

ヒューマンインターフェース(2)

9:30～10:30

座長:高野倉雅人(神奈川大学)

- 2G1-1 大学来訪者受付へのコミュニケーションロボット ○高野倉雅人、富山大地、荻谷光晴(神奈川大学)
導入に関する研究
- 2G1-2 視覚的作業支援情報の操作対象物に対する追従呈示の効果の検討 ○藤原悠史、篠原一光、北村昭彦(大阪大学大学院)、佐々木誠(コマツ)
- 2G1-3 モニター画面の周囲に視線を向けた場合の情報入手に与える影響 ○門間政亮(宇部フロンティア大学短期大学部)、本多薰(山形大学)
- 2G1-4 会議におけるチャットシステム併用効果の検討 ○飯野大介、小松原明哲(早稲田大学)

ヒューマンインターフェース(3)

10:45～12:00

座長:矢口博之(東京電機大学)

- 2G2-1 電子書籍と紙書籍に関するユーザビリティ比較 ○矢口博之(東京電機大学)
(第2報)
- 2G2-2 ボタンの異方的触感がボタン選択に及ぼす効果 ○小林大二、南條頌貴(千歳科学技術大学)
- 2G2-3 開発環境 Unity を用いた教育漫画の動画化 ○菊池航、鈴木郁(法政大学)
- 2G2-4 WOW ユーザ体験(WOW UX)に伴う感情の分類と測定 ○石井貴大(慶應義塾大学)、Julian Thomssen(ミュンヘン工科大学)、中西美和(慶應義塾大学)
- 2G2-5 作り手の思いの伝達が生み出す UX の研究-家電製品を対象として- ○針谷爽(慶應義塾大学)、坂田理彦(三菱電機)、岩原明弘(三菱電機ホーム機器)、中西美和(慶應義塾大学)

ヒューマンインターフェース(4)

13:00～14:00

座長:森亮太(長野県短期大学)

- 2G3-1 ドライバ特性を考慮した車載 HUD 呈示情報量 ○清水爽太(日本大学大学院)、栗谷川幸代、景山一郎(日本大学)
- 2G3-2 内発的動機づけの誘発による覚醒維持の手法 ○目片悠貴(慶應義塾大学)、武内秀平、山本恒の提案・検証:自動運転車への応用をねらいとして行、神谷直城、鈴木隆司(東海理化電機製作所)、中西美和(慶應義塾大学)
- 2G3-3 多様な機能を有するインタラクティブシステムのユーザビリティの検討 -操作手順規則を自然对话形式に一貫化する効果について- ○堀口僚太(早稲田大学大学院)、小松原明哲(早稲田大学)
- 2G3-4 ユーザとデザイナにおけるメンタルモデル合致 性評価手法の検討 ○森亮太(長野県短期大学)

感覚計測

14:15～15:15

座長:塩見格一(福井医療大学)

- 2G4-1 視線追跡装置を用いた「かわいい」という感性 ○富部剛史、Tipporn LAOHAKANGVALVIT、滝
価値の研究—ワンピースを対象として— 沢葵、大倉典子(芝浦工業大学)
- 2G4-2 ロボットによるタッチ刺激が引き起こす情動の予 ○中谷真太朗、中村数磨、西田信一郎(鳥取大
学)
- 2G4-3 誘引気流を用いた送風機の心理生理的効果の ○中川朋美、岩川幹生、芳村啓太(パナソニック エ
コソリューションズ社)、勝又慎介(パナソニック エコ
システムズ)
- 2G4-4 音声信号に定義するカオス論的な特徴量の性 質 ○塩見格一(福井医療大学)

環境

15:30～16:30

座長:落合知(北海道大学)

- 2G5-1 手選別の効率と作業環境の関係に関する研究 ○落合知(北海道大学)、五十嵐知宏、古田秀雄
(建設技術研究所)、山田正人(国立環境研究所)
- 2G5-2 自然風景写真の癒やし要素の検討—眺望・隠れ場理論とトポフィリアー
- 2G5-3 居住空間の散らかり度合とストレスの関係についての研究 ○千島大樹、二瓶美里、鎌田実(東京大学)
- 2G5-4 周辺視野を活用した目視検査における検査対象 ○中嶋良介(成蹊大学)、秀島光慶、肥田拓哉、松
象面の複雑性が欠点検出に及ぼす影響に関する研究 本俊之(青山学院大学)

6月3日(日) H会場

動作(2)

9:30～11:00

座長:村木里志(九州大学)

- 2H1-1 身体動作能力を拡張するテクノロジーに対する人間の適応能の理解とその応用 ○村木里志、Ping Yeap Loh(九州大学)、福田修(佐賀大学)、齋藤誠二(岡山県立大)、能登裕子、山本元司(九州大学)
- 2H1-2 動作アシストを想定した利用者の force release のシミュレーション ○Choi Jeewon、Loh Ping Yeap、村木里志(九州大学)
- 2H1-3 人間の適応能評価を目的としたインピーダンス 可変機構の開発 ○福田修、村上真基、山口暢彦、奥村浩(佐賀大学)、村木里志(九州大学)
- 2H1-4 等尺性肘関節屈曲運動のアシスト時における筋活動の特徴 一利き腕と非利き腕の比較 ○王媛媛、崔至源、Loh Ping Yeap、村木里志(九州大学)
- 2H1-5 An Exploratory Study into the Effects of Forces from a Walking Assist Device with Motorized Wheels on Basic Gait Characteristics ○Wen Liang Yeoh、Ping Yeap Loh、村木里志(九州大学)
- 2H1-6 歩行アシストに対する筋電応答 ○保坂享俊、阿部紘一、齋藤誠二(岡山県立大学)、村木里志(九州大学)

動作(3)

11:15～12:00

座長：茅原崇徳(金沢大学)

- 2H2-1 身長と年齢が荷物持ち上げ時の腰部負担に与える影響 ○茅原崇徳、岩原和宏、坂本二郎(金沢大学)
- 2H2-2 腰の筋負担評価に基づく介護動作教育指導システムの開発 ○易強、小松剛、大賀久美(静岡県工業技術研究所) 前中一介(兵庫県立大学) 、下村義弘(千葉大学) 、中井聖(大阪電気通信大学)
- 2H2-3 身体装着型アシスト装置による負担軽減に関する予備的検討－筋電図測定のための身体動作の同時測定－ ○原田泰弘、田中正浩、菊池豊(農業・食品産業技術総合研究機構)

作業姿勢

13:00～14:30

座長：岩切一幸(労働安全衛生総合研究所)

- 2H3-1 個人ばく露測定用ポンプの形状および装着位置と作業のしやすさ ○岩切一幸、鷹屋光俊、山田丸、加藤伸之、外山みどり(労働安全衛生総合研究所)、小山冬樹(千葉大学)
- 2H3-2 パワーアシストスーツの装着による作業姿勢と関節トルクに基づく腰部負担の定量的評価 ○麻植雄樹(徳島県立工業技術センター) 、安田尚広、高岩昌弘(徳島大学) 、佐藤正和(ヨコタコーポレーション)
- 2H3-3 板書高さによる板書姿勢の身体的負担と黒板の見え方の分析に基づく黒板の使いやすさの検討 ○廣川敬康、中谷彰悟(近畿大学)
- 2H3-4 姿勢変化を伴う重心移動限界の変化 ○外池康裕、平内和樹(首都大学東京大学院) 、瀬尾明彦(首都大学東京)
- 2H3-5 變電所内のケーブル取り扱い作業における負担評価と負担軽減方法の検証 ○近藤伸哉、池浦良淳(三重大学大学院) 、杉本敏文(中部電力) 、早川聰一郎(三重大学大学院)
- 2H3-6 教育の場における座位と立位を変えられる姿勢の有効性の検討(2) ○阿久津正大、石毛航(玉川大学) 、高杉健一、大深浩史(エール学院)

姿勢

14:45～16:00

座長：芝田京子(高知工科大学)

- 2H4-1 骨盤傾斜を考慮した腰椎椎間板負荷の推定 ○芝田京子(高知工科大学) 、津吉康仁(高知工科大学大学院) 、園部元康(高知工科大学) 、井上喜雄
- 2H4-2 脊柱アライメントと自動車シート着座時の疲労感との関係調査 ○平山健太、太田誠、伊藤智、吉川賢一、櫻井篤実(本田技術研究所)
- 2H4-3 ライトタッチが静止立位に与える影響 ○佐藤健(実践女子大学) 、中島みづき(東京大学大学院) 、加藤麻樹(早稲田大学)
- 2H4-4 ヘッドスパ施術を想定した寝姿勢の違いによる心理的・生理的効果 ○萬成哲也、小川俊介、多田俊彦、戸田和成、佐藤千怜、中嶋礼子、奥崎則雅、細川博史、岡本宏司、大西日出男(タカラベルモント)
- 2H4-5 学校用椅子における安定性と活動しやすい座位姿勢のサポートの工夫 ○金城正治(秋田大学) 、金澤知夏(栃内第二病院)

MEMO

日本人間工学会 第59回大会 実行委員会

大橋 智樹	宮城学院女子大学	大会長
狩川 大輔	東北大学	大会企画、プログラム編集担当
神田 直弥	東北公益文科大学	
北村 正晴	(株)テムス研究所	大会企画担当
工藤 剛実	東北文化学園大学	記念品担当
佐川 貢一	弘前大学	
笹原 孝	(株)東北電力	
高橋 信	東北大学	懇親会担当
本多 薫	山形大学	受付担当
本多 ふく代	東北文化学園大学	
本田 一明	一般社団法人 原子力安全推進協会	懇親会担当
山口 俊憲	山形県立産業技術短期大学校	プログラム編集担当
吉田 信彌	東北学院大学	
和田 裕一	東北大学	輸送担当

(五十音順)

協賛団体

特定非営利活動法人 安全工学会	一般社団法人 日本シミュレーション学会
一般社団法人 映像情報メディア学会	一般社団法人 日本助産学会
一般社団法人 日本看護管理学会	日本信頼性学会
一般社団法人 システム制御情報学会	公益社団法人 日本心理学会
公益社団法人 自動車技術会	公益社団法人 日本生体医工学会
一般社団法人 照明学会	一般社団法人 日本体育学会
人類働態学会	日本知能情報ファジィ学会
一般社団法人 繊維学会	日本デザイン学会
一般社団法人 電子情報通信学会	日本認知心理学会
公益社団法人 日本看護科学学会	日本バーチャルリアリティ学会
一般社団法人 日本看護研究学会	日本バイオメカニクス学会
日本感性工学会	一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会
一般社団法人 日本機械学会	日本プラント・ヒューマンファクター学会
一般社団法人 日本義肢装具学会	一般社団法人 日本母性看護学会
公益社団法人 日本経営工学会	公益社団法人 日本理学療法士協会
一般社団法人 日本建築学会	公益社団法人 日本リハビリテーション医学会
一般社団法人 日本航空宇宙学会	NPO法人 日本リハビリテーション看護学会
一般社団法人 日本作業療法士協会	日本臨床バイオメカニクス学会
一般社団法人 日本色彩学会	一般社団法人 ライフサポート学会

(順不同、2018年5月18日現在)

機器展示

インターフロス株式会社
オプティラック・ジャパン株式会社
ダイナコムウェア株式会社
株式会社東陽テクニカ
竹井機器工業株式会社
株式会社たびのレシピ°
株式会社DKH
トビー・テクノロジー株式会社
株式会社フジオテック
株式会社フォーアシスト

(五十音順)

広告掲載

一般財団法人第一生命財団
ダイナコムウェア株式会社
竹井機器工業株式会社
株式会社たびのレシピ°

(五十音順)

日本人間工学会第 59 回大会プログラム

2018 年 6 月 2 日発行

禁転載

編集者

一般社団法人 日本人間工学会

発行

第 59 回大会実行委員会

大会長：大橋 智樹（宮城学院女子大学）

実行委員会：〒 981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1

運営事務局：〒 100-0014 東京都千代田区永田町 2-9-6

十全ビル 4 階 株式会社ドーム内

印刷・製本

興和印刷株式会社

姿勢と健康を考える情報誌

ポスチャー

POSTURE

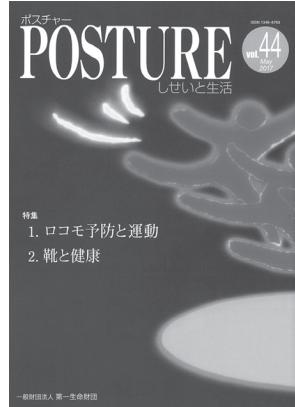
しせいと生活

日々の生活の中で、つい忘れてしまいかちな姿勢。しかし、姿勢が私たちの健康や生活に与える影響はたいへん大きいといえます。そこで、姿勢に関心を持ち、重要性を再確認してもらうために本誌はつくられました。

- 毎号姿勢に関する特集テーマを定め、健康との関連を多面的に研究しています。
- また姿勢や健康に関わりの深い身の回りの品を取り上げ、これに関する話題、科学的な分析、生活に役立つ情報などを提供します。
- 自治体の健康施策や施設のルポ、姿勢と健康に関するトピックスなどもお届けします。

バックナンバー

第 1 号 (1993.7)	特集 1 / ほんね健康論 特集 2 / ステキなステッキの研究	第 25 号 (2005.5)	特集 1 / 身近な運動と姿勢 特集 2 / 自転車を楽しもう！
第 2 号 (1993.10)	特集 1 / スポーツと姿勢 特集 2 / 靴の研究	第 26 号 (2005.11)	特集 1 / 座姿勢を考える 特集 2 / 姿勢をめぐる最新研究
第 3 号 (1994.4)	特集 1 / 舞踊と姿勢 特集 2 / バッグの研究	第 27 号 (2006.5)	特集 1 / 腹筋、背筋を鍛えよう 特集 2 / データから見る体力・運動能力・各種愁訴の実態
第 4 号 (1994.10)	特集 1 / ニューススポーツのすすめ 特集 2 / 椅子の研究	第 28 号 (2006.11)	特集 1 / 子どもの健康・教育と姿勢 特集 2 / 教育現場から見た子どもの姿勢
第 5 号 (1995.4)	特集 1 / 美しさと姿勢 特集 2 / 枕の研究	第 29 号 (2007.5)	特集 1 / メタボリックシンドロームへの対応 特集 2 / 生活習慣の改善を考える
第 6 号 (1995.10)	特集 1 / 子どもと姿勢 特集 2 / ベッドの研究	第 30 号 (2007.11)	特集 1 / 姿勢と品格 特集 2 / こころと姿勢
第 7 号 (1996.5)	特集 1 / 家庭内での姿勢を考える 特集 2 / 台所の研究	第 31 号 (2008.5)	特集 1 / 加齢と姿勢 特集 2 / 高齢者の身体と心
第 8 号 (1996.11)	特集 1 / 美しい立ち居振る舞い 特集 2 / トイレの研究	第 32 号 (2008.11)	特集 1 / 膝の悩みと姿勢 特集 2 / 膝の痛みへの対応
第 9 号 (1997.5)	特集 1 / 気ままに歩いて健康づくり 特集 2 / ウォーキンググッズあれこれ	第 33 号 (2009.5)	特集 1 / オフィス環境と姿勢 特集 2 / 新時代のオフィスを考える
第 10 号 (1997.11)	特集 1 / 歌舞伎の女形にみる表現と姿勢 特集 2 / 階段の研究	第 34 号 (2009.11)	特集 1 / 住まいと姿勢 特集 2 / 姿勢とユニバーサルデザイン
第 11 号 (1998.5)	特集 1 / 美しい姿勢と仕草 特集 2 / 背負い道具の研究	第 35 号 (2010.5)	特集 1 / 子どものたくましさを育てる 特集 2 / 子どものたくましさと教育
第 12 号 (1998.11)	特集 1 / かみ合わせと姿勢 特集 2 / 姿勢と筋力	第 36 号 (2011.5)	特集 1 / 運動器を健康に保ち続けよう 特集 2 / ウォーキングと健康
第 13 号 (1999.5)	特集 1 / 姿勢と腰痛 特集 2 / 健康機器を考える—腰痛予防・治療を中心	第 37 号 (2011.11)	特集 1 / 姿勢とエコノミークラス症候群 特集 2 / 大規模災害と不活動
第 14 号 (1999.11)	特集 1 / 介護と姿勢 特集 2 / 看護・介護・福祉系大学の新潮流	第 38 号 (2012.5)	特集 1 / 姿勢と筋力 特集 2 / さまざまな筋肉の働き
第 15 号 (2000.5)	特集 1 / 子どもの成長と姿勢 特集 2 / 子どもをめぐる家具や用具	第 39 号 (2012.11)	特集 1 / 子どもと遊び 特集 2 / 子どもの成長と遊具・玩具
第 16 号 (2000.11)	特集 1 / 文化としての福祉の実現を目指して 特集 2 / こんなグループ あんなボランティア	第 40 号 (2013.5)	特集 1 / 睡眠と健康 特集 2 / 質がよい睡眠とさわやかな目覚め
第 17 号 (2001.5)	特集 1 / いろいろな民族の生活・文化と姿勢 特集 2 / バリアフリーを考える	第 41 号 (2014.5)	特集 1 / 子どものすこやかな発達を考える 特集 2 / 子どもの発達とその支援
第 18 号 (2001.11)	特集 1 / 人間型ロボットと姿勢 特集 2 / ロボットのある暮らし	第 42 号 (2015.5)	特集 1 / 障害者スポーツの現状と課題 特集 2 / スポーツと障害
第 19 号 (2002.5)	特集 1 / 乗り物と姿勢—乗り心地を考える 特集 2 / 福祉車両の研究	第 43 号 (2016.5)	特集 1 / 健康寿命をのばそう！ 特集 2 / 健康寿命をのばすためのポイント
第 20 号 (2002.11)	特集 1 / 肩こりと姿勢—肩こりを考える 特集 2 / 肩こり解消のためのヒント	第 44 号 (2017.5)	特集 1 / ロコモ予防と運動 特集 2 / 靴と健康
第 21 号 (2003.5)	特集 1 / 脳と姿勢 特集 2 / 立って歩くために役立つリハビリ用具	第 45 号 (2018.5)	特集 1 / 進化するヒト型ロボットと姿勢 特集 2 / ロボットによる動作や姿勢の支援



● A5 判 ● 帯価 / 500 円 ● 年 2 回(5 月、11 月) 発行
2013 年から年 1 回(5 月) 発行

お申込み、お問い合わせは

一般財団法人 第一生命財団 まで
〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-2-10
平河町第一生命ビル 2 階
TEL / 03 (3239) 2312 FAX / 03 (3239) 2315



体験設計認証フォント 金剛黒体

次世代の読み心地を体感

辺導謎隨

滑らかな転折

及又衣栗

力強いはらい

ぬまのゆ

余白を均一化、なめらかな弓型のストローク

鈍尼包旭

滑らかな曲線

123 ॐआ

数字の3をヒンディー語に応用

CcgRat

シンプルでシャープな線と余白

あらゆるUI/UXデザインに適した
なめらかなストローク

小さな液晶画面においても
ストレスフリーな読み心地



ダイナコムウェア株式会社 DynaComware Corporation 第8営業部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル8F

TEL:03-3556-6638/FAX:03-3556-6593/http://www.dynacw.co.jp/E-mail:embedded@dynacw.co.jp





とっておきマイリゾート

たびの邸宅

貸別荘「たびの邸宅」シリーズ
宮城蔵王、鎌倉、沖縄で好評営業中



家具付きの一戸建てを貸切で宿泊利用できる貸別荘。家族と楽しく、友人とワイワイ、恋人とまったり、夫婦でのんびりなど使い方はお客様次第です。小規模な社員旅行や研修旅行などにもピッタリ！

◆貸別荘という至福のリゾート

貸別荘での贅沢な休日を過ごしませんか？

ホテルや旅館に宿泊する旅行とは一味違う、

自分たちだけの空間を自由に満喫してお寛ぎ頂くことができます。

また、その土地で「暮らす」気分を味わえるのも魅力です。

完全独立の高級リゾートホテル 「ヴィラブリゾート」



たびの邸宅 ヴィラブリゾートは、宮古島空港から車で約20分、
伊良部島のオーシャンフロントに建つ沖縄発のオールヴィラリゾートホテルです。

□ヴィラブリゾート公式サイト
<http://villabu.jp/>

ココロにごちそう旅



株式会社たびのレシピ
〒982-0007 宮城県仙台市太白区あすと長町1丁目4-50
(スーパースポーツゼビオあすと長町店1F)
TEL.022-304-5565 FAX.022-304-5585
<http://www.tabino.co.jp/>

たびの邸宅
ご予約ダイヤル

<http://tabinoteitaku.jp/>
0800-805-7197 (通話料無料)

【東京支店】TEL.03-6435-8465

【あすと長町店】TEL.022-304-5565

【沖縄支店】TEL.098-988-4395

【仙台泉タビオ店】TEL.022-341-5058

お持ちの物件を貸別荘として運用したいオーナー様を随時募集しております。
詳しくはお問合せください。

TalkEye Free (非接触型眼球運動測定装置)

- 視対象をディスプレイに限定した眼球運動装置です（静止画&動画）。
- 対象物の評価など、グラスをかけないので、より自然な状態で測定可能です。
- 検出部は小型・軽量。三脚だけでなく、ディスプレイに直接貼り付け可能です。



【仕様】

検出方法…………瞳孔角膜反射画像処理方式（暗瞳孔法）
検出部形態…………スティック状非接触トラッキングデバイス 両眼
検出部照明光……近赤外線、波長850nm
サンプリング 周波数…最大60Hz



TAKEI 竹井機器工業株式會社 人間の可能性を科学する

本社/〒956-0113 新潟県新潟市秋葉区矢代田619 TEL. 0250(38)4132 FAX. 0250(61)1211

MEMO